

川崎陸送◆QCC大会

配車表 入力ミス削減

京都営業所チームが1位

川崎陸送(樋口恵一社長、東京都港区)は7日、QCCサークル(小集団活動)代表発表大会を開催した。新型コロナウイルス感染症予防活動について発表した結果、配車表の入力ミス削減などに取り組んだ京都営業所の「ナイトクラブ」が2大会ぶりに1位の優秀賞を獲得した。



画面越しで記念撮影に臨む優勝チームのメンバーと樋口社長

各サークルは、出荷作業における仮置き場の明確化やピッキングエリアの設置などによるピッキング動線の短縮及び有効活用可能なスペースの創出、作業員の手待ち時間を活用した事務所員の仕事のサポート、税関への申告書作成ミス削減による通関士の業務負担軽減など、課題解決に向けた多様なテーマを設定。中でも、前回大会と同じテーマを設定して更なる効率化の推進と取り組みの定着化などに努めたサークルが複数見られた。

優秀賞のナイトクラブも前回と同じく、「3M(ムリ・ムダ・ムラ)の削減」をテーマに設定。配車表の入力間違いなどによる請求担当者からの問い合わせが散見され、前回大会では目標に到達できなかったため、引き続き取り組んだ。

配車表の簡素化や色付けによる視覚的なミス防止などを図った結果、全入力件数に対するミスのあった割合は大幅に改善。金額を含めた効果が大きく表れるようになるなどの成果が評価された。

このほかの結果、優良賞(2位)に葛西流通センターの葛西の達人、努力賞(3位)には通関東京営業所の湾岸クラブが受賞。また、個人などで競われる優秀提案発表では、ピッキング作業におけるレイアウト変更と作業方法の見直しを提案した京都営業所の堀田征典氏らが最優秀賞に輝いた。(井内亨)